

建設コンサルタンツ協会中部支部
若手の会 WG

平成 30 年度活動報告書

平成 31 年 1 月

一般社団法人建設コンサルタンツ協会 中部支部

目 次

1. 活動目的とWGメンバー

1.1 活動目的	1
1.2 WGメンバー	1

2. 活動内容

2.1 今年度の活動内容	2
2.2 活動方針	3
2.3 Aグループ	3
2.4 Bグループ	8
2.5 全国交流会 in 中部	16
2.6 「因夢 in 中部」への投稿	20
2.7 本部との連携	24

3. 2年間の活動をとあして

3.1 WGメンバーの感想	27
3.2 活動を終えて	28

4. 今後の展望

4.1 Aグループ	30
4.2 Bグループ	30
4.3 「中部支部 50 周年記念イベント」に向けて	30

1. 活動目的とWGメンバー

1.1 活動目的

建設業界を取り巻く「少子高齢化」「担い手育成・確保」「ダイバーシティー」「働き方改革」「生産性革命」といった、業界で働く人をターゲットにした課題への対応と業界への対応の実現に向けて、建設コンサルタントの若手技術者の新しい目線から、諸問題、将来像、改善行動について議論を交わすことにより、業界全体の課題に対して積極的な取り組みが期待されます。これらの課題に対応し、業界の活性化の提案を目的に活動しています。

★ 建設コンサルタントの将来を担うリーダーとして活躍する人材育成

WGメンバーが、建設コンサルタント業界を担うリーダーとしての資質向上を図るため、各種勉強会を開催しました。勉強会を通じて自分たちの今後のあるべき姿を、見つめ直すことを目的としました。さらに、そのような勉強会の有効性を評価し、今後の活動に活かせたらと考えました。

★ 業界PR方法の模索→業界の入職率アップと離職率ダウン

建設コンサルタント業界は建設業に比べ知名度が低いため入職者が少ないことが、今後の業界の大きな問題となります。そのため、この現状を踏まえて、まず建設コンサルタントの知名度を向上させることを目的とした業界PR方法を模索しました。

1.2 WGメンバー

《リーダー》	☆ こじま ひろき 小島 裕樹	中日本建設コンサルタント株式会社
《サブリーダー》	☆ おおくら しやうたろう 大倉 唱太郎	株式会社オオバ
☆ あらき ゆきのり 荒木 亨仁	大日本コンサルタント株式会社（～平成 30 年 6 月）	
☆ いとう けんたろう 伊東 賢太郎	中部復建株式会社	
☆ いねなが さとし 稲永 哲	大日本コンサルタント株式会社（平成 30 年 7 月～）	
☆ かみや たかひろ 神谷 貴浩	中央コンサルタンツ株式会社	
☆ きたはら だいき 北原 大樹	玉野総合コンサルタント株式会社	
☆ くぼ た あきつぐ 久保田 晃嗣	株式会社フジヤマ	
☆ さいとう まさあき 齊藤 正明	株式会社カギテック	
☆ たなか まこと 田中 誠	株式会社オリエンタルコンサルタンツ	
☆ の だ かずひで 野田 和秀	大日コンサルタント株式会社（～平成 30 年 3 月）	
☆ はた さ ようすけ 畑佐 陽祐	株式会社興栄コンサルタント	
☆ ひらの ひろゆき 平野 浩之	大日コンサルタント株式会社（平成 30 年 4 月～）	
☆ まつお たくや 松尾 拓也	八千代エンジニアリング株式会社	
☆ もりした ゆうた 森下 雄太	中日本建設コンサルタント株式会社（～平成 29 年 12 月）	
☆ むとう ひろむ 武藤 啓	NTC コンサルタンツ株式会社	

2. 活動内容

2.1 今年度の活動内容

第7回 WG	H30.4.8 15:00~17:00
・昨年度（H29）の活動内容の確認、今年度（H30）の活動方法の決定	
第8回 WG	H30.5.16 15:00~17:00
・Aグループ：年間スケジュール確認 ・Bグループ：PR方法の検討	
「第56回 定時総会・懇親パーティー」への参加	H30.5.24
・功労賞の受賞	
第9回 WG	H30.6.8 14:00~17:00
・Aグループ：勉強会の準備 ・Bグループ：PR方法の検討 ・「女性の会WG」との合同ミーティング	
「WILL SUMMIT」への参加	H30.6.29
・活動内容の報告	
第1回勉強会 「中央コンサルタンツ株式会社 桑嶋様」	H30.7.6 14:00~17:30
第10回 WG	H30.7.20 15:00~17:00
・Aグループ：第1回勉強会のまとめ、第2回勉強会の準備 本部との交流会検討 ・Bグループ：PR方法の検討	
50周年記念イベントのKOM	H30.8.3
・イベント内容の説明、「若手の会WG」の役割確認	
第11回 WG&第2回勉強会 「大日本コンサルタント株式会社 三浦様」	H30.8.31 14:00~17:00
・50周年イベントの説明	
第12回 WG	H30.9.14 15:00~17:00
・全国交流会と第3回勉強会の準備 ・50周年イベントの役割分担決定	
全国交流会in中部	H30.10.12
第13回 WG	H30.11.17 15:00~17:00
・全国交流会のまとめ ・各グループの活動内容の整理 ・1年間の活動内容のまとめ方の検討	
第14回 WG	H30.12.14 15:00~17:00
・1年間の活動まとめ	

2.2 活動方針

今年度は、2つの活動目的に応じて以下のグループに分けて活動しました。

- ◇ Aグループ：「若手の能力向上を目指した講演会の開催」
- ◇ Bグループ：「学生への業界PR方法の模索」

2.3 Aグループ

◇ 業界内でリーダーとして活躍する方々との勉強会を開催

第1回勉強会 「中央コンサルタンツ株式会社 桑嶋様」(都市整備部長)

(1) テーマ

管理職の立場としての考え方や教育について

(2) 感想

実 実践してみたいこと・・・

桑嶋様の実体験を含めた講演をいただき、各メンバーの所感を出し合いました。

勉強会に参加し、講師のプレゼンを拝見し20代30代の若手の技術向上が将来の技術の礎に繋がる。若手の会メンバーとの情報交換や交流は貴重なものである、若手の会の中長期的な方向性は分からないが、この交流を絶やさないためにも、同窓会・OB会のような集まりがあるとよいと感じた。

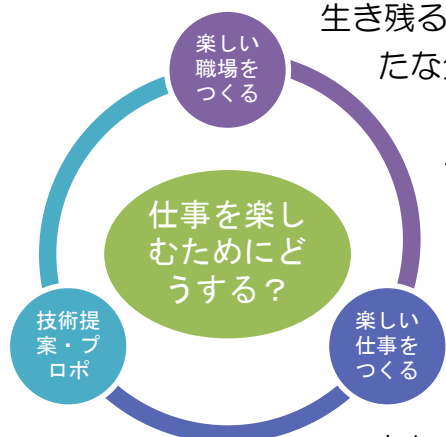


勉 勉強会に参加して・・・

仕事を“ソウゾウ”＜想像・創造＞する力をつける。建コン業界が生き残る為には、どうするべきか、どういった手法が必要か、新たな分野への可能性も視野に仕事に取り組む。

「仕事をやらされている感」から「仕事をやっている感」へシフトすることにより仕事を楽しむことに繋がる。例えば、自らの技術提案により受注した業務において「仕事をやらされている感」を感じるはずがありません。

私は、本「若手の会WG」が同業他社との交流という意味で、初めてだったということもあり、大変刺激を頂いています。ここでの“経験”や“繋がり”を財産と考えて精進していければと感じました。



若手の会について・・・

よりよい人間関係を作ることが将来の財産になる。

1年間ディスカッション形式で様々な意見交換を行い、WG後の懇親会で語り合うことにより良質な人間関係を築くことができました。

他社の取り組み、教育体制を知ることができ、今後の人材育成をしていく上でとても参考になりました。自社でも取り入れていけるものは試してみたいと思う。

仕事の姿勢について・・・

今後、人口減少等を背景として、行財政が縮減するなかで、いかに楽しさを見出せるか。新しい技術を見据えて今の仕事をしていく、未来志向型の業務を作っていく。

自治体のアドバイザーとしての立場まで踏み込んでいく。自分のやりたい仕事を自ら取りに行くことにより達成感、仕事を楽しむことにつながる。

プロポ提案書作成を若いうちから取り組む。



これからの仕事を考える・・・

トヨタ自動車がMaaS専用

の次世代電気自動車「e-Palette Concept」を2018年1月に発表した。これは産業構造が大きく変化してくる可能性がある上、人々のライフスタイルを大きく転換する可能性もある。

技術や情報はこれからどうなるか分からない。建コン業界とすごく関係性がある。技術の発展性を見据えながら自分たちが楽しく働ける環境をつくる。それは若い世代が考えなくてはならない。

未来志向型を目指して・・・

仕事に余裕がなく、実績重視型になっている現状を技術の向上、新たな発想により業務内容のさらなる効率化を図る。業界内の新技術、新工法を学び、その一歩先、二歩先を考える発想力を意識する、その一方で先人が築き上げてきた技術は欠くことのできない基本的財産である。今後自発的に行動することにより「未来志向」と「継承」どちらも極めることが重要と考える。

第2回勉強会「大日本コンサルタント株式会社 三浦様」（中部支社：支社長）

（1）テーマ

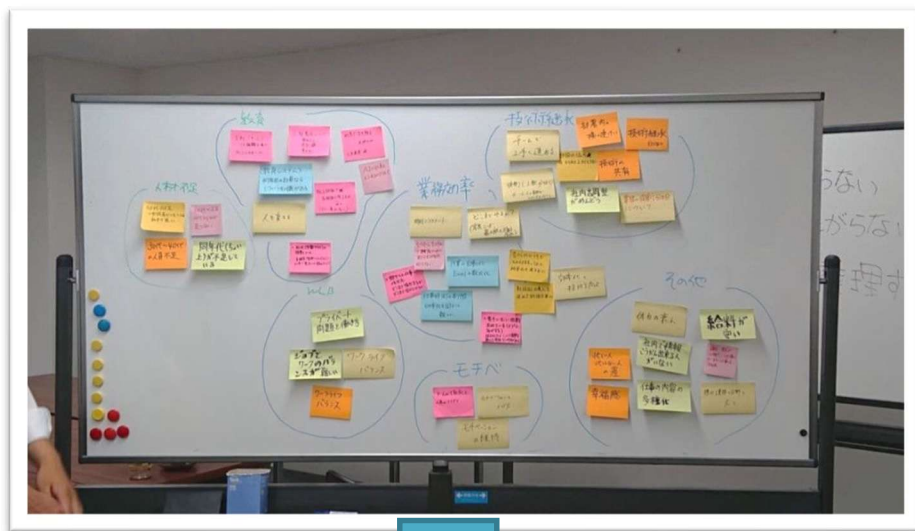
経営者の立場から見た若手とその教育方針について

（2）問題提起

10年後にはマネージャー！そのために出来ることは？
人間は頭の中に答えや考えを必ず持っている。その言葉を発することで頭の中が整理され、自分の行動に定着すると考えられる。
このプロセスを継続しない限り、行動に移すことはできない。
「やらされている感」ではダメ。

（3）課題抽出・ディスカッション

☐ 々の業務の中で、課題や問題と感ずることを全員で出し合った。
☐ 上記を、人材不足、教育、ワークライフバランス、モチベーション、業務効率化、技術継承、その他に分類した。



「業務効率化」をピックアップし分類、ディスカッションを行った。

技術向上

時間がない中で、人にどこまで任せるか？人に任せると技術向上への不安感がある。やりたいこともやれない…。日常の業務の効率化を求めらる一方で、技術力UPに充てる時間が少ない。新技術の導入を進める時間がない。

☐ 質と評価

☐ 評価される仕事の方法は？どこまでやるか？客先のニーズに対して最小限を求める会社…。



業務の分散

部下がいないので仕事を頼めない。部下にどこまで指示するか、任せるか。部下と自分の使い分け…自分の時間を空けるため…。新しい人材の育成と技術の継承。

効率化の具体的方法

10年前から同じことの繰り返し、
新たな技術についてもっと勉強したい。

作業の自動化・効率化のために Excel の数式化をもっと活用すべき。
昔からのやり方も大事だが、重視すると効率化が進まない。部下ともっと対話する。分かっていないのは対話がないからではないか、「対話」という言葉を大切に日々の業務に努めるべきと考える。

**業務の効率化！
時間がない！！**

課題が最も多く出された「①技術向上」について考えを深めた

時間がないため自分が出来ないことを人に任せている、人からの指示に対してこなすだけ（流すだけ）になり指示待ちになる。そして、人は人から言われたことはやりたがらない。自らのやる気と技術向上のためにも自発的な行動をとるべき。

これまでの業務はティーチングだった、これからはコーチングという仕組みを構築していくことが必要。コーチングすることで相手にも気付いてもらう。自ら気付いたことは継続するというロジック。

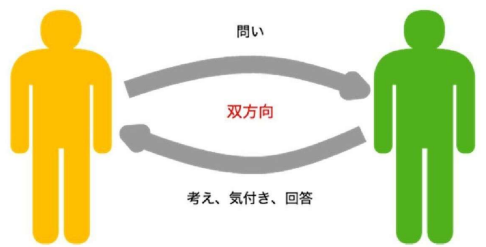
(4) 感想

様々な日々の課題について、意見を出し合ったことで「自分で考える」こ

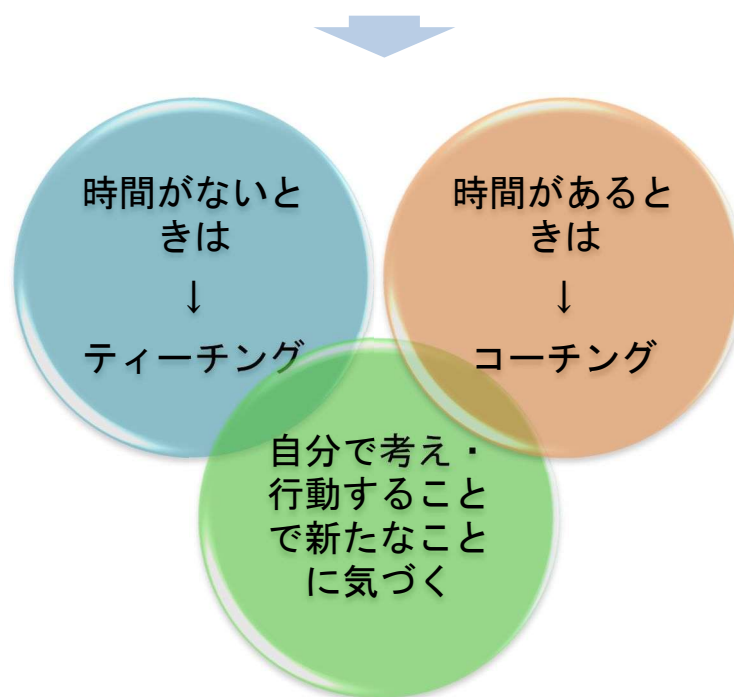
とにつながる。改めて問題点を提示、話し合うことで、今後の業務効率化を具体的にどう進めていくのか、自分に与えられた時間の中で技術スキルを向上するためにどのような取り組みをしていけるのかを考えることが出来た。

10年後マネージャーになったら、新たな人材を教育していく立場にもなるので、更なる業界の発展に繋がるよう、品質、技術、効率、全てを向上していく必要がある。そのためにも WG 等の交流を今後も継続し、自社以外の技術について話し合う場を持つことが出来れば、業界の未来への期待が広がる。



ティーチング と コーチング		
	ティーチング	コーチング
概要	基本的に<u>一方通行</u>のコミュニケーション 	基本的に<u>双方向</u>のコミュニケーション 
メリット	- 一度に大勢の人数を育成できる - やり方や価値観の統一を図ることができる - 速いスピードで育成できる	- 相手の考える力を育て、自発性や応用力、再現性を高められる - 相手の可能性を引き出すことができる - 相手の個性を活かすことができる - 相手の学習力自体を上げることができる
限界	- 教える側の知識や経験に左右される - 教えられる人の個性は活かされない - 教えられる側を受け身にさせる	- ある程度の時間がかかる - 一度に大勢を育成するのは難しい - 相手に全く知識や経験がないとき
適した場面	- 基本的な知識を教えるとき - 社内のルールを徹底させるとき - 緊急性が高いとき	- 本人の中にしかない情報やリソースにアクセスしたいとき - 答えを見つけるプロセスを学習させたいとき - 目先の答えだけを与えたくないとき - 自発的な行動を促したいとき

注：Hello, Coaching! (<https://coach.co.jp/whatscoaching/20170609.html>) に基づき整理



◇ Aグループのまとめと今後に向けて

桑嶋様からは、未来志向や自分たちの仕事は自分たちでソウゾウ「想像・創造」することを学んだ。

三浦様からは、対話の重要性やコーチングで“気づいてもらう”重要性を学んだ。

市橋様からは熱意のある方の活躍の場の提供や、周りを巻き込みながらの人間的な成長が技術的な成長を促進させることを伺った。

今後リーダーとして活躍していくためには、人間的な成長が不可欠であると思うが、そのためには、周りを巻き込んだコミュニケーション・対話が重要であり、例えば僕らより若い世代との対話では、気付きを促す質問を投げかけるなどのコミュニケーションが必要であると感じた。また、これから10年20年先の建設コンサルタンツ業界の仕事を創っていくのは僕らだという強い認識を持って、僕ら若手世代が熱意・意識を高くもって、仕事の内容や環境について提案をしていく必要性も感じた。今回若手WGという場で、貴重なメンバーと出会うことが出来た。今後ともこの交流を絶やさず、互いに切磋琢磨し、ひいては業界の活性化にも寄与するメンバーへと成長していきたい。

2.4 Bグループ

1. 活動方針

学生への業界 PR 方法の模索

2. アンケートの位置付け

建設コンサルタントへの入職者増員を目的に、大学生への PR 活動を実施していくことを予定している。学生へアプローチするにあたり、「いつ」「何を」「誰に」アピールすることが効果的であるかを把握するため、直近まで学生であった建コン各社の入社 3 年目までの方を対象にアンケート調査を実施した。

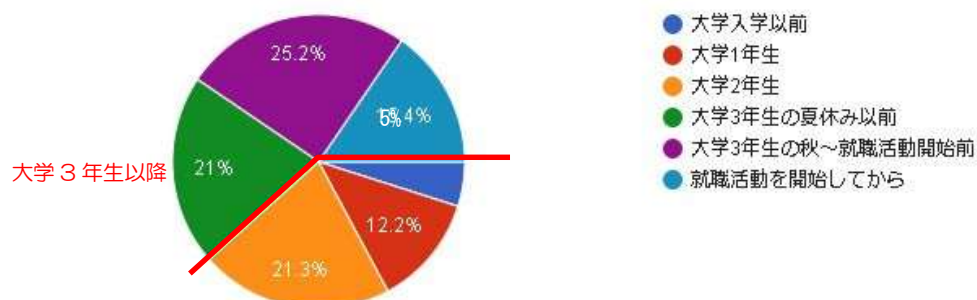
アンケート結果まとめ

◆建設コンサルタントの存在を知った時期

- ・就職活動を開始する大学 3 年生以降に建設コンサルタントを知った人が約 60%
- ・大学入学以前から建設コンサルタントを知っていた人は約 5%
⇒就職を意識し始めるまで、建設コンサルタントのことは知らない人が多い。
⇒一般的には、やっぱり建設コンサルタントの知名度は低い？

建設コンサルタントの存在を知った時期はいつごろですか？（高専卒の場合は、5年生を大学4年として記載ください）

286 件の回答

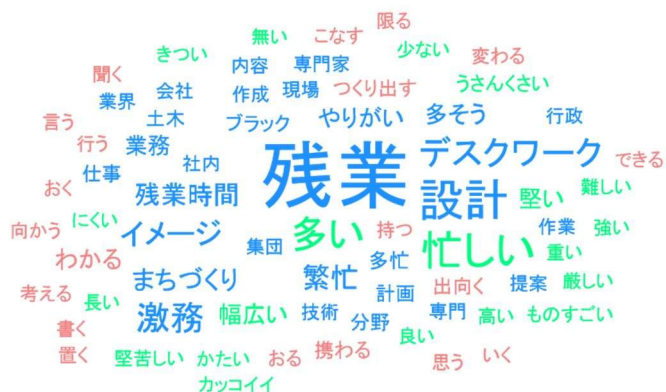


- ・授業中の先生の発言が約 40%

建設コンサルタントの存在を知ったきっかけは何ですか？

- 授業中の先生の発言
- 研究室での会話
- キャリア教育、業界研究会などの...
- リクナビ・マイナビ等のナビサイト
- 大学の先輩
- 研究室の異なる先輩の就活の話を...
- 友達との会話
- JICA開発コンサルインターン

◆入社前の建設コンサルタントのイメージ

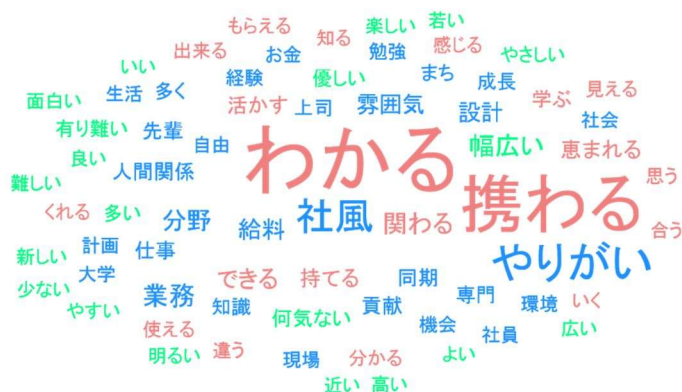


イメージ悪い

[illegible]

「残業時間が多い」という回答が圧倒的
＝ 入社前と同じ

◆建設コンサルタントに就職してよかったと思うこと



「わかる」という回答数が多いことから、仕事内容とやりがい伝わっていないと考えました。

アンケートの結果から

就職活動を開始する前の学生に対して、建設コンサルタントの存在を知ってもらうことが重要と考えた。また、就職活動前の学生に対して各企業が具体的に企業説明をすることができないため、建設コンサルタント協会や行政主体の業界PRとすることが1つの有効な機会になり得ると考えた。

このような視点を踏まえ、今後の取り組みに対して参考となる事例として、建設コンサルタント協会九州支部が開催する【JobCafé】と、愛知県が開催する【イブニングサロン】を抽出した。

【JobCafé】

〔概要〕

・主催 建設コンサルタント協会九州支部

学生団体

・目的 建設コンサルタントの業界PR、魅力の発信

学生の将来ビジョン形成の一助

・対象 学生、社会人（建設コンサルタント）

・参考 2010年報告書、2014年チラシ、2017年チラシ（次頁以降に添付）

⇒中部で開催する際のポイント

・企画コンセプトと会場の雰囲気づくり（企画、会場、プログラム）

・学生が参加しやすい参加費の設定（予算の確保）

・学生の巻き込み

土木を学ぶ学生のための2日限りのカフェ。

Job Café 2010 Report

共同企画：建設コンサルタント協会九州支部 × KL2

建設コンサルタントってどんなところ？どんな仕事をしているの？

土木を専攻している学生でも、意外と知る機会がない建設コンサルタントのナカミ。普段の就職セミナーや説明会では深くは聞けない現場の現状を、学生と社会人の皆さんがCafeで気軽に話せる場をつくった。それがJobCafe。

今年度は分野を割り振り、2日間開催した。各分野の専門家は具体的な仕事の内容や、仕事に対する思いを熱く語った。学生達は自分の将来像を思い浮かべながら、熱心に耳を傾けていた。

開催日時

■第1回：11月15日（月）18：00～21：00

■第2回：11月29日（月）18：00～21：00

開催場所

レンタルカフェ「Mu-Tsuki」
（福岡市博多区上川端町10-15 地下1F）

プログラム

①建設コンサルタントとは？（10分）

②各専門分野の業務紹介（30分）

③フリートーク+質問タイム（130分）

参加者

■第1回・・・学生22名、社会人8名

■第2回・・・学生27名、社会人5名

01 建設コンサルタントとは？

建設コンサルタントの社会的な役割やその仕事の魅力、業界の雰囲気、必要とされる能力等について、中央コンサルタンツ㈱の八重尾氏が説明を行なった。

プレゼン中の会場の様子は非常に静かで、学生は真剣な面持ちでスクリーンを眺めていた。あらためて建設コンサルタントとは何か、を社会人の直の生の説明で十分に理解しようとしていた。



建コンとは何か？説明をする八重尾氏



プレゼン中の会場の様子



和泉氏



前田氏



結城氏



小林氏

02 各専門分野の業務紹介

今年度のJobCafeは各分野を割り振り、下記のように2回に渡り開催した。

■第1回：11月15日（月）・・・景観・まちづくり、河川、港湾、環境

■第2回：11月29日（月）・・・構造、橋梁、耐震、防災、都市計画、交通

第1回では、「景観・まちづくり」分野について、㈱東京建設コンサルタントの前田氏、「環境」分野について㈱建設技術研究所の和泉氏が説明を行なった。第2回では、「交通・都市計画」分野について㈱福山コンサルタントの結城氏、「防災」分野について日本工営㈱の小林氏が説明を行なった。各プレゼンターは、自身が抱えるプロジェクトの内容に基づいた業務紹介を行った。また、出勤から退社までの実際の1日の過ごし方や、自身の建設コンサルタントという仕事に関する考え方などについても説明した。

学生達は、就活セミナー、説明会などでは、盛り込まれていない話に関心を示しながら、メモをとるなどしてプレゼンターの説明に終始耳を傾けていた。説明の間、きっと自分の将来像を思い浮かべていたに違いない。

03 フリートーク+質問タイム

知りたいことを知るためには、会話による直接的なコミュニケーションが一番。昨年度と同様に、フリートークタイムに100分と大きく時間を設けた。昨年度の反省を活かし途中で席替えを行い、学生が満遍なくたくさんの社会人と会話ができるようにした。またフリートーク後、匿名の質問タイムを設けた。学生が面と向っては聞くことが難しい内容の質問に対して、社会人が話すことができる範囲で答えるようにした。その内容としては、「学部卒と修士卒の就活における優位性は？」、「就職から5年後の年収は？」「残業手当は出るのか？」など大胆な質問が多かった。



軽食を飲みながらの自由な会話の様子



学生からの質問に応じる木寺氏

04 企画を終えて

昨年度より開催回数が少なくなったにも関わらず、今年度は学生の参加者数が延べ49名と増やすことができた。また、今年度の参加者の特徴としては、学部生の参加が述べ22名（全体の45%）と過去と比較して多かった。さらに、KL2のメンバーが専門とする「景観・まちづくり」分野の学生だけでなく、他分野を専攻する学生も今年度は多く見られた。これらは、KL2のネットワークだけでなく、各大学に企画の窓口を設け、大学内でのネットワークを活かした広報活動を行ったためだと考えられる。

なお、開催後に行なった学生へのアンケートの中で、今後の課題として考えていくべきものを以下に記す。

- ・開催場所が分かりにくかった。また、人数が多いと移動しにくい。
- ・場の雰囲気、提供される飲食物を手にとることができなかった。
- ・フリートークの時間が短い。

今年度の反省を活かし、来年度以降はさらにより良い開催が行なえるようにしていきたい。

JOBCAFÉ2014

～ドボクを学ぶ学生のための1日限りのカフェ～

2014.11.19 (Wed.) OPEN!!

☕ JOBCAFÉとは??

建設コンサルタントってどんなところ? どんな仕事をしているの?

土木を専攻している学生でも、意外と知る機会がない建設コンサルタントのナカミ。

普段の就職セミナーや説明会では深くは聞けない現場の現状を、就職活動をはじめこの時期に、知っておきたいですか?

そんな学生のために、学生と社会人の皆さんがCafeで気軽に話せる場をつくりました。

それがJOBCAFÉです。

また、若手の方と話をすることで、自分のリアルな数年後の姿をイメージすることができます。

就職説明会のようなかじってあった形ではなく、ぜひ私服で、気軽にお茶を飲みながら話をしませんか?

☕ 開催要綱

■ JOBCAFÉは、下記の日程・内容で開催します。奮ってご参加ください。

11月19日(水)

OPEN→18:15/CLOSE→21:30

都市計画、交通、景観・まちづくり、

河川、港湾、環境、防災、橋梁など

各専門分野について建設コンサルタント業界で活躍する

社会人の皆さんにお話していただきます。

■ 定員：学生20名程度 / 社会人20名程度

■ 参加費(学生)：500円

**定員
残りわずか!**

☕ プログラム

1. 建設コンサルタントとは? ...18:30~18:40
2. 各専門分野の事業紹介 ...18:40~19:00
3. フリートーク ...19:00~20:50
4. 質問タイム ...20:50~21:20

☕ 参加希望・お問い合わせ

JOBCAFÉに参加希望の方は

①氏名②所属(大学名・研究室名・学年)③連絡先(E-mail)

を御記入のうえ、下記のメールアドレス宛に御連絡ください。

E-mail: td134007@cis.fukuoka-u.ac.jp (福岡大学 萩尾)

※送付の際は、●を◎に変えてください。

☕ 参加申し込み締め

2014年11月12日(水) 18:00まで

☕ アクセス

福岡市営地下鉄「天神駅」より

地下街西1番出口から

北へ350m直進(徒歩8分)

都の津口交差点(歩道橋が目印)を左折

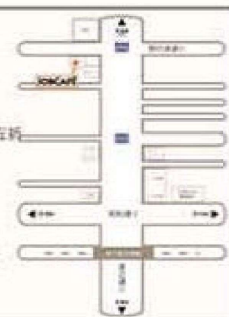
レンタルカフェ「桜」

福岡市中央区天神3-10-27

デクモビル1F(入口すぐ)

※ご来場の際は、公共交通機関を

なるべくご利用ください。



出典: Kyushu Landscape League
(<https://www.facebook.com/KyushuLandscapeLeague/>)



JOB CAFE

ジョブ カフェ

2017.12.16 Sat
18:00~21:00

ケンコンを知りたい学生のための1日限りのカフェ
福岡天神にてOPEN!!

JOB CAFE とは?

- 建設コンサルタントってどんなところ?どんな仕事をしているの?
- 意外と知る機会が少ない建設コンサルタントのナカミは?
- 普通の就職セミナーや説明会では深くは聞けない生の体験談やホンネのハナシは?

河川, 港湾, 橋梁, 都市計画, 交通, 景観, まちづくり, 環境, 防災, 海外プロジェクト
自分の**興味のある分野**について、**ぜひ私服**で、気軽に**Cafeしながら** 話ませんか?

PROGRAM

- 1 建設コンサルタントとは?
- 2 私が“建コン”に入った理由
- 3 各分野のトップランナーによる経験談
- 4 フリートーク
- 5 質問タイム



そんなあなたのお悩みに建コン若手がお答えします!!

建コンって休めるの? 給料って高いの?



地元で働きたいけど?



定員・参加費

定員: 学生30名程度 建コン若手30名程度
※人数は調整させていただく場合があります
参加費: 学生無料

会場

コマツブルミエ (欧風ダイニングレストラン)
福岡市中央区 大名 1-14-13 プラザホテルブルミエ 1F

参加希望・お問い合わせ

参加希望の方は下記の参加希望の方は下記のメールアドレスにご連絡下さい。

お問い合わせ: 社会人代表 松尾 真吾 smatsuo@toa-ct.co.jp
学生代表 鳥越 瑞奈 tc150615@cis.fukuoka-u.ac.jp

主催: (一社) 建設コンサルタンツ協会 九州支部 夢アイデア部会
若手チーム「ばり!夢ばかなえ隊」

JOB CAFEの詳細は、
FBページ「夢アイデア」で!



夢アイデア



資料提供: 一般社団法人建設コンサルタンツ協会 九州支部

【イブニングサロン】

〔概要〕

- ・主催 愛知県（建設企画課）
- ・目的 建設業界・建設分野の魅力の発信。建設分野に関わる若手人材の育成
- ・対象 大学生や高校生等、教職員、建設系民間企業技術職員、建設系行政技術職員、その他（建設分野にかかわらない県民等）
- ・参考

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kensetsu-kikaku/eveningsalon.html>

今期の活動

平成30年 7月12日（木）：愛知工業大学（参加者：伊東）

平成30年10月31日（水）：中部大学（参加者：小島）

～イブニングサロンとは～

イブニングサロンは愛知県が、愛知人財力強化プロジェクトの一環として、「建設分野の魅力発信」や「建設分野にかかわる若手人材の育成」のために、建設分野の技術者と学生等が交流する場として開催しているもので、行政や建設企業、建設コンサルタントなど、既に建設分野に携わっている技術者や、これから進路を決定する学生などの異業種間、異世代間、さらには建設分野にかかわらない県民などが交流することにより、建設分野についての実態や疑問、課題などを共有し、相互理解を深めることを通じて、建設分野に対する魅力を発信するとともに、建設分野にかかわる若手人材の育成を行うことを目的とした取り組みです。

若手の会は、愛知県が実施するイブニングサロンへ参加し、業界の魅力ややりがいについてのPR活動を実施しました。
当日は、個別フリートーク形式でテーブルを業種毎に分け、15分で学生を入れ替える形で実施しました。

～当日の様子～

平成30年 7月12日（木）：愛知工業大学（参加者：伊東）



平成30年10月31日（水）：中部大学（参加者：小島）



～学生からの主な質問～

学生が就職活動で不安に感じていることや、わからないことをキーワードでまとめました。今後、業界のPR活動を進める上で、これらに対して丁寧に説明することが重要だと感じました。

〔主な質問〕

- ・業務内容
- ・やりがい、失敗談など
- ・勤務環境（勤務地、残業、休暇、給料、職場）
- ・働き方（ライフスタイル、心がけていること）
- ・社会に出る前にやっておくべきこと
- ・インフラの大切さ、土木の必要性
- ・女性の働き方（出産、育児、家庭と仕事の両立、女性の人数）

2.5 全国交流会 in 中部

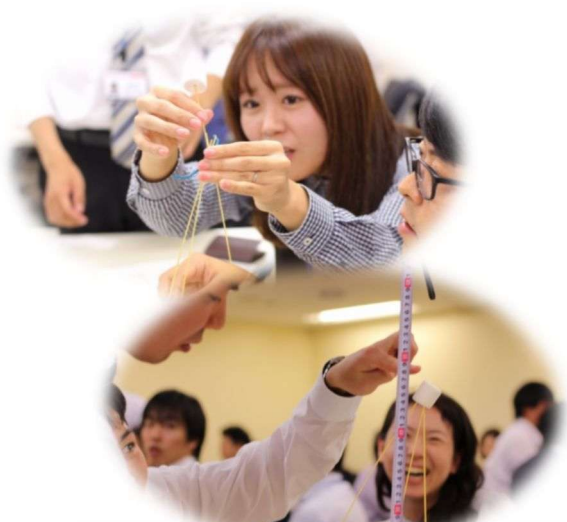
目的

2015年の本部若手の会設立から、全国の若手技術者が交流会を実施し、全国9支部の内、7支部にて交流会を実施しています。この度未実施であった中部支部においても全国交流会を開催しました。

交流会の目的としては、若手技術者の意識・意欲の向上、モチベーションUP、悩みの共有、改善策の討議、新たな視点、知見の広がり、横の繋がり、人脈構築等ですが、各支部の特色を生かした交流会を開催しています。

アトラクション

マシュマロタワー



各チームのチームワークができた

トークショー 「大日コンサルタント株式会社：市橋様」

(1) テーマ

若手が今すべきことはなんだろうか？

～若い皆さんが今すべきこと～求められるのは…？

業界の発展、変革

自分の将来像を描く

働き方改革



(2) 現状＝問題

＜若い人たちの思いはどうか？＞

誰かがやってくれるだろう

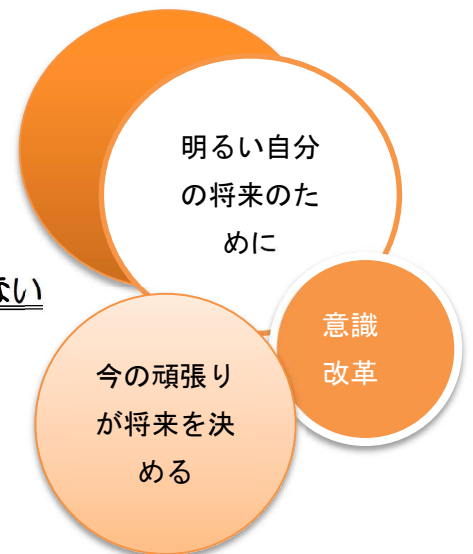
おれの考える事ではないよね

自分はまだその立場にないし

仕事がたくさんありすぎて、そんなことまで考えられない

というか、新しいことめんどくさいし

余計な仕事は増やしたくない



(3) 提言

自分の強み・弱みを理解する

あなたの強み・弱みは何ですか？



目標をたててみる

短期・中期・長期・・・

技術者としての目標達成には時間がかかる、人間的に成長するための目標をじっくり考えてみよう。

いろいろな人と積極的に話す

我々は閉鎖的な社会に生きている社内外問わず、自分以外の個性・活力を自分のものにしたらどうだろう・・・この業界で唯一無二の存在になれるのでは？

人間的な成長は、技術的な成長を促進させる。

仕事の大半は「話す」こと、会話する力は「技術力」のひとつ。

新たなビジネスチャンスをつかむために・・・

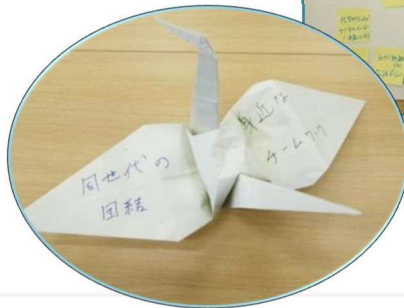
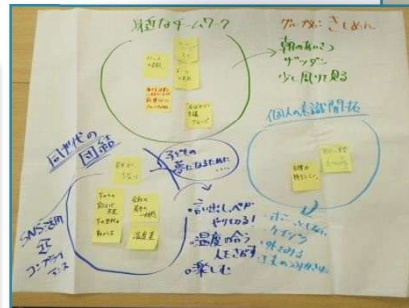
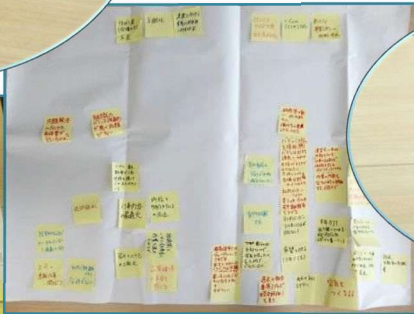
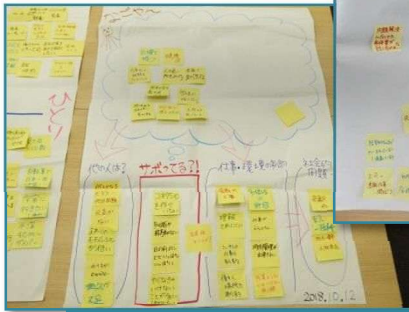
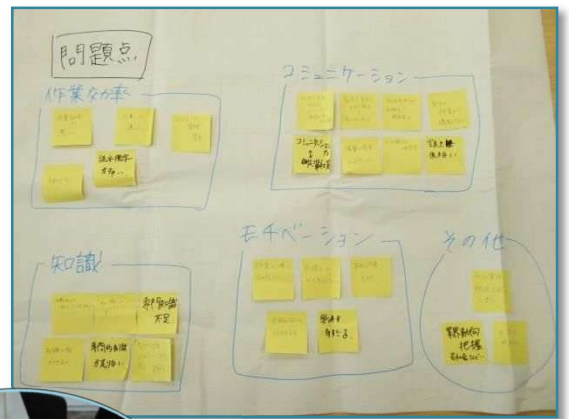
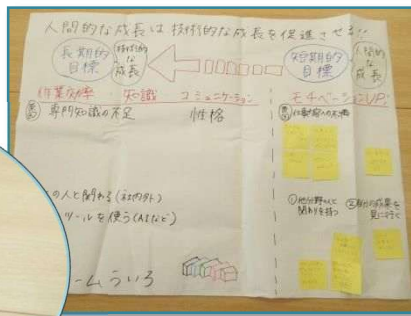
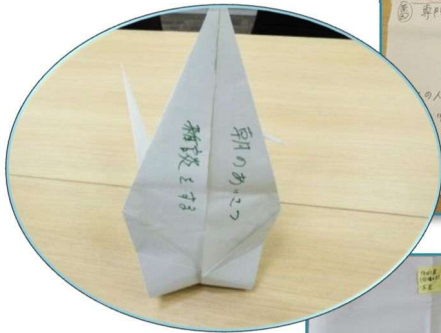


(4) 感想

- ・自分も積極性が足りないので、手をあげる、たくさん話す、そういうところから自分を変えていきたいと思った。
- ・いろんな人と話すことの大切さを実感、知識の輪を広げていきたい。
- ・内向的なので、個性の強い人と話して、自分を変えていきたい。
- ・色々な仕事をやるようになって、目標が見えなくなっていたが、流れに身を任せるのではなく、目標をもって自分で変えていくことが大事だと思えた。
- ・自分の強み、弱みをしっかり考えたい
- ・若手の弱い部分を指摘され、そうだと思った。食堂やコミュニケーションスペースを頑張って作ってきたい。
- ・多くの人と話すことの大切さを感じた。言いたいこと伝えたいことがあってもなかなか言葉で出てこない。ニュアンスを伝えるのも難しい。多くの人と話して慣れて、伝えられるようになりたい。
- ・目の前の与えられた仕事だけでなく、日々目標をもって仕事に取り組みたい。

グループディスカッション





2.6 「図夢 in 中部」への投稿

建設コンサルタンツ協会中部支部 技術部会 若手の会WG

■設立趣旨

昨今、建設業界を取り巻くキーワード「少子高齢化」「担い手育成・確保」「ダイバーシティー」「働き方改革」「生産性革命」といった、業界で働く人をターゲットにした課題への対応が求められています。魅力ある建設コンサルタント業界の実現に向けて、業界の将来を担う当事者である若手世代が自らの仕事に誇りとやりがいを持ち、明るい将来展望を描き、主体的に行動している姿を業界内外に示し続けることが極めて重要です。このような状況の中、建設コンサルタントの若手技術者が一堂に会し、業界の諸問題や、将来像、改善行動について議論を交わす場として、平成 27 年 4 月本部に「本部若手の会」が設置されました。中部支部においても、業界全体の課題に対して積極的な取り組みが期待されており、これに対応するために、「若手の会」を新たに設立しました。

■活動報告

本年度における若手の会WG活動実績は以下のとおりです。本年度は、各社の課題や、課題に向けた取り組みを紹介し、活動方針を設定しました。来年度より方針に沿った具体の活動を実施予定。

活動実績：定例会の実施（全5回 いずれも 15：00-17：00 の2時間帯で実施）

第1回：平成 29 年 7 月 3 日 内容：設立趣旨、メンバー紹介、活動方針について

第2回：平成 29 年 8 月 4 日 内容：活動方針、議論方法、本部活動状況について

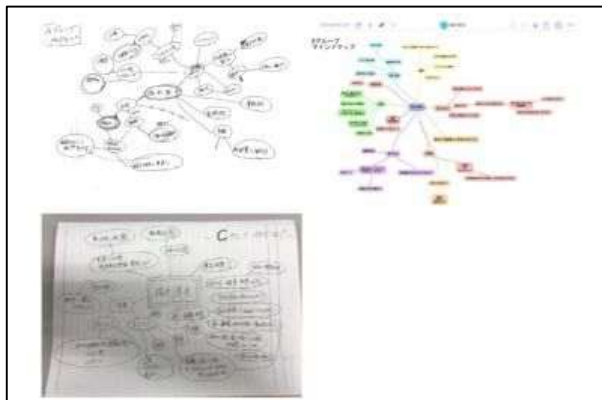
第3回：平成 29 年 9 月 8 日 内容：フリーディスカッション 「残業」について

第4回：平成 29 年 10 月 6 日 内容：フリーディスカッション 「福利厚生」について

第5回：平成 29 年 11 月 10 日 内容：今後の活動方針（テーマ）策定について



▲定例会の様子



▲協議内容（マインドマップによる整理）

■今後の予定

第5回定例会（11/10）にて、本年度の取組みテーマを設定（以下の2テーマ）

テーマ①：働き方改革（労働生産性向上に向けた取り組みの提案）

テーマ②：人材育成（次世代の人材確保に向けた取り組み）

次回定例会（平成 29 年 12 月 6 日）にて、各テーマに対する取組み内容の具体化を図る。

技術部会

若手の会WG

若手の会WGリーダー 小島裕樹

中部若手の会WGは、「中部建設コンサルタント業界発展の起爆剤となる」、「規制観念にとらわれない大胆な議論を交わす」、「若手技術者同士が語り合い、良質な関係を保つ」こと等を設立趣旨として、業界活性化、リーダーとして活躍する人材の育成、若手技術者同士が切磋琢磨できる会の実現を目指し活動しています。

現在、13名が登録しています。

本年度は、① 若手の能力向上を目指した勉強会の開催、② 学生への業界アピールによる人材確保 を目指し、活動しています。

1. 平成29年度下半期～現在までの主な活動報告

平成29年度下半期～現在までの活動実績は以下のとおりです。（いずれも15：00～17：00の2時間帯で実施）

■第5回：平成29年11月10日

- ・今後の取組み内容の決定（上記、①及び②）

■第6回：平成29年12月6日

- ・今後の取組み内容の具体化にむけて

■第7回：平成30年4月18日

- ・勉強会の講師、勉強内容決定、アンケート作成

■第8回：平成30年5月16日

- ・講師への依頼書作成、アンケート展開に向けて調整

■第9回：平成30年6月8日

- ・勉強会運営上の詳細確認、アンケート結果整理

■若手の会、女性の会合同WG：平成30年6月8日

- ・働き方について意見交換（職場での女性技術者について、育児への協力について等）



▲合同WGの様子

2. 平成30年度の主な活動予定

（1）若手の能力向上を目指した勉強会の開催について

「業界及び企業経営に対する大局観を持ち、大胆な議論を交わす」「若手技術者同士が切磋琢磨する」などを活動方針にしている若手の会では、昨年度は「人材育成」「働き方改革」などをテーマにフリーディスカッションを行い、若手技術者同士の相互理解を重ねてきました。

その中で、業界を牽引していくリーダーとして活躍する人材となるために、若手技術者として今すべきことや抱負等について考えを深める機会を作りました。

そこで、建設コンサルタントの第一線で活躍する方々より、これまでの業界で活躍する中で心得ていたことや、若手技術者への期待等に関する内容についてご講演いただき、講演を聞くだけでなく、意見交換を主とした勉強会を開催いたします。第1回勉強会は以下のとおり開催することを予定しています。

■第1回：勉強会

場 所：建コン中部会議室

日 時：2018年7月6日（金）15時30分～17時00分

勉強会終了後は参加者に対して、「勉強会に参加した所感」「今後実践してみたいこと」について、アンケート調査を実施し、若手の会WGで取りまとめます。

また、今後、経営者や発注者の方による講演も開催し、様々な視点からの考え方を学ぶ機会を作っていくことを検討しています。

（2）学生への業界アピールによる人材確保について

本年度、業界への入職者増員を目的に、大学生へのPR活動を実施していくことを予定しております。

その際、どのような内容をPRすることが効果的であるかを把握するため、若手社員を対象に簡単なアンケートを実施いたしました。

アンケートは若手の会WGのメンバーが所属する会社の入社1～3年目の若手社員に対して実施し、286名の回答が得られました。

今後、アンケート結果を整理します。（グラフで傾向が把握できる設問は、グラフ＋コメントで整理します）

アンケート結果をもとに学生へアピールすべき時期、手段、学生が重要視している項目等を把握し、今後、効果的に業界PRを実施していくための材料とします。

また、建設コンサルタントに就職して良かったと思うこと等、文章で記入していただいた設問は、先輩社員の声として、学生へのアピール材料として整理します。

技術部会

若手の会WG

若手の会WGリーダー 小島裕樹

中部若手の会WGは、「中部建設コンサルタント業界発展の起爆剤となる」、「規制観念にとらわれない大胆な議論を交わす」、「若手技術者同士が語り合い、良質な関係を保つ」こと等を設立趣旨として、業界活性化、リーダーとして活躍する人材の育成、若手技術者同士が切磋琢磨できる会の実現を目指し活動しています。

現在、13名が登録しています。

本年度は、① 若手の能力向上を目指した勉強会の開催、② 学生への業界アピールによる人材確保 を目指し、活動しています。

1. 平成30年度の主な活動報告

平成30年度の活動実績は以下のとおりです。

(いずれも15:00-17:00の2時間帯で実施)

■第7回：平成30年4月18日

・勉強会の講師、勉強内容決定、アンケート作成

■第8回：平成30年5月16日

・講師への依頼書作成、アンケート展開に向けて調整

■第9回：平成30年6月8日

・勉強会運営上の詳細確認、アンケート結果整理

■若手の会、女性の会合同WG：

平成30年6月8日

・働き方について意見交換

■第10回：平成30年7月6日

・第1回勉強会開催

■第11回：平成30年7月20日

・全国交流会に向けての開催説明

■第12回：平成30年8月31日

・第2回勉強会開催

■第13回：平成30年9月14日

・全国交流会の準備

■第14回：平成30年10月12日

・全国交流会開催

■第15回：平成30年11月7日

・成果の取りまとめ

■第16回：平成30年12月14日（予定）

・成果の取りまとめ

2. 若手の能力向上を目指した勉強会

業界を牽引していくリーダーとして活躍する人材となるために、若手技術者として今すべきことや抱負等について考えを深める機会を作ることを目的として、建設コンサルタントの第一線で活躍する方々をお招きして、これまでの業界で活躍する中で心得ていたことや、若手技術者への期待等に関する内容についてご講演いただき、講演を聞くだけでなく、意見交換を主とした勉強会を開催しました。

■第1回勉強会

場 所：建コン中部会議室

日 時：2018年7月6日（金）15時30分～17時00分

講 師：

中央コンサルタンツ株式会社 桑嶋様



①第1回勉強会の様子

■第2回勉強会

場 所：建コン中部会議室

日 時：2018年8月31日（金）16時00分～17時00分

講 師：

大日本コンサルタント株式会社 三浦様



②第2回勉強会の様子

3. 学生への業界アピールによる人材確保

業界への入職者増員を目的に、大学生へのPR活動を実施しています。どのような内容をPRすることが効果的であるかを把握するため、若手社員を対象に簡単なアンケートを実施いたしました。

アンケートは若手の会WGのメンバーが所属する会社の入社1～3年目の若手社員に対して実施し、286名の回答が得られました。現在、アンケート結果を整理しています。

アンケート結果をもとに学生へアピールすべき時期、手段、学生が重要視している項目等を把握し、今後、効果的に業界PRを実施していくための材料とします。

4. 若手の会 全国交流会 in中部の開催

(1) 全国交流会の概要

2015年の本部若手の会設立から、全国の若手技術者が交流会を実施し、全国9支部の内、7支部にて交流会を実施しています。この度、未実施であった中部支部においても全国交流会を開催しました。

交流会の目的としては、若手技術者の意識・意欲の向上、モチベーションUP、悩みの共有、改善策の討議、新たな視点、知見の広がり、横の繋がり、人脈構築等ですが、各

支部の特色を活かした交流会を開催しています。

(2) 全国交流会 in中部

中部支部での交流会開催にあたり、中部若手の会で実施してきた活動大綱から逸脱することなく、交流会を通じて更に充実した成果を得る機会にできるよう内容を検討しました。

場 所：名駅モリシタビル7階

日 時：2018年10月12日(金)13時30分～17時30分

内 容：

- ・アトラクション
- ・トークショー

講 師：

大日コンサルタント株式会社 市橋様

- ・全国若手の会の取り組み紹介

本部若手の会 伊藤代表

- ・グループディスカッション

全国から50名以上の参加者があり盛大に開催することができました。大日コンサルタント(株)市橋様の講演を受け、グループに分かれて意見交換しました。

参加者からは今後の仕事へ取り組む姿勢を変革していきたいという声が多数聞かれ、大変有意義な交流会となりました。



2.7 本部との連携

<1> 功績賞の受賞

本部若手の会が主体となって行ってきた、「30年後の将来ビジョン」の策定、他団体や各支部との交流会の開催等の活動に対し、リクナビNEXT主催「グッドアクションアワード 2017」を受賞した。

これを受けて、建設コンサルタンツ協会から、協会の知名度を高め、社会的評価や地位の向上に貢献したことが認められ、本部若手の会と全国9支部の若手組織に功績賞が贈られた。

中部支部 若手の会 WG も功績賞の受賞に参加した。



<2>WILL SUMMIT

「自分たちの意思をもって未来に向かって行動する若手リーダーが集まる場」という意味が込められた “WILL（未来意思）” + “SUMMIT（リーダーが集まる場）”、全国各支部の若手組織を立ち上げ、業界の将来像に対する相互情報を共有し討議を重ねてまいりました。若手技術者がリーダーシップを学ぶ場とし、今後の働き方、あるべき姿を学びました。

<中部支部としての発表>

若手の会 WG、女性の会 WG の活動内容・活動結果などをパワーポイントにて紹介しました。



<3>「魂のメルマガ」への投稿

～メルマガの趣旨～

若手組織の活動や各委員の思いを広く共有するために本部若手の会が発行しているメールマガジン

< H30.11.7 配信 >

～若手の会全国交流会 in 中部を終えて～

◇若手の会全国交流会 in 中部

From 小島裕樹（中部支部若手の会代表）（中日本建設コンサルタント株式会社）

先日の若手の会全国交流会では、多数の皆さんにご参加いただきありがとうございました。大成功の交流会を開催できたことに感謝いたします。

また、大日コンサルタントの市橋様、ご多忙中の中、素晴らしい講演をしてくださり誠にありがとうございます。講演のなかで、「人間性を豊かにすること」という内容がとても印象に残りました。

つついちは技術力の成長のみ求めてしまいましたが、人間性を豊かにし、対話力、説得力、人望をつけていくことで効率的な仕事を成し遂げると言う視点に気付かせてもらえました。また、人間性は定量的に評価できるものではないため、短期目標を立てて、理想とする自身の姿に意識的に近づけていく努力をしてみたいと思いました。そのうえで尊敬する人、理想とする人の存在は大切であると思います。そうした互いに刺激し合える人が多い組織は発展すると思いますし、やりがいを出せる環境であると思います。自身も周りから理想とされる存在になれるよう、技術力と人間性の両輪を磨いていきたいと思っています。

< H30.12.5 配信 >

～若手の会全国交流会 in 中部を開催して～

◇若手の会全国交流会 in 中部を開催して

From 畑佐 陽祐（興栄コンサルタント）（中部支部若手技術者の会）

先日実施した若手の会全国交流会 in 中部には、多数の参加をいただきましてありがとうございました！先日と言いつつ、既に2ヶ月近くが経過しております。。時が経つのは早いですね！

交流会のグループワークでは、各班で課題を設定していただき、「課題と明日から実践すること」と題してワークを行っていただきましたが、皆さんその後いかがですか？何かアクションは起こせたでしょうか？講演会や交流会に参加して「楽しかった」では何も変わりません。若手の勢いで、何かを変えられるようにアクションを進めていきましょう！

～若手の会全国交流会 in 中部に参加して～

◇若手の会全国交流会 in 中部に参加して ～若い皆様からいただいたもの～

From 市橋 政浩（大日コンサルタント株式会社）

東京のコンサルから地元の岐阜に戻って10年。経営にかかわるようになり早5年。地方の仕組みを変えていこうと自分なりに戦ってきた。地方では熱量がなかなか上がらない。そんなもどかしい気持ちの中、若手の会の人たちと交流する場をいただけた。業界を本気で変えようとする人達がいた。若い世代のアクション・気持ちから伝わる熱意・希望、プレッシャー、自分の中で様々な思いが交錯し、今まで感じたことのないモチベーションが生まれた。「まだやれる。」「これからもやっていける。」そんな思いにさせていただいた。全国にはまだまだ熱量の高い人が多い（はず）。そんな人達とこれからも繋がっていきたい。編集注）市橋様からは、去る10月12日の中部開催にて「若手が今すべきことはなんだろうか？」をテーマに講演いただきました。

3. 2年間の活動をととして

3.1 WGメンバーの感想



小島 裕樹
中日本建設コンサルタント(株)

今回のWGでリーダーを務めさせていただきましたが最初は戸惑いました。特に本年度は充実した活動内容になったと思います。この経験を糧にしてこれからの成長につなげたいと思います。WGメンバーの皆さん、協会をはじめとした本WGを支援してくださった方々、ありがとうございました。

2年間の活動は、本当にあっという間の様に感じられますが、活動を通じて、他社の若手の方からとても良い刺激を受けました。



大倉 唱太郎
(株)オオバ

日々の業務では触れることが少ない他社の同年代の方々の考えを知って、「ジブンゴト」として考えることができました。貴重な経験をありがとうございました。



伊東 賢太郎
中部復建(株)

途中からの参加でしたが本年度はイベント盛りだくさんであったため、最初は活動内容の把握が大変でした。非常によい刺激になりました。ありがとうございました。



稲永 哲
大日本コンサルタント(株)



神谷 貴浩
中央コンサルタンツ(株)

振り返ればあっという間の2年間。本当に貴重な時間でした。15時～17時の会議も濃厚でしたが、何よりアフターファイブの懇親会が楽しく、刺激的でした。ありがとうございます。これからも若者らしく全力で精進していきます！

同じ業界の様々な会社、立場、年齢の方々と活動を通じて、よい経験になりました。ありがとうございました。これからも、この繋がりを大切にしたいです。



北原 大樹
玉野総合コンサルタント(株)



久保田 晃嗣
(株)フジヤマ

業界の技術者ならではの悩みや解決策等を共有出来て、自分自身の成長ができました。ありがとうございます。



齊藤 正明
(株)カギテック

交流会、勉強会、本部との連携等の様々な活動を通じて、自分の視野が広がりました。このような活動にこれからも主体的に参加して、自分磨きをしていきたいです。ありがとうございました。



畑佐 陽祐
(株)興栄コンサルタント

このWGを通じて、中部だけでなく全国規模の交流が出来ました。この経験を活かして技術者としてだけでなく人間性の成長もしていきたいです。ありがとうございました。



田中 誠
(株)オリエンタルコンサルタンツ

この2年間の活動で、各社または各技術者が持つ多くの考え方や意見に触れることができて、これからの自分、会社、業界のあるべき姿を考える良い機会でした。ありがとうございました。

このWGに参加して、日ごろはライバルであるはずの他社の技術者(=メンバー)と考えを共有し、時には議論して、業界の将来の在り方を考えることができました。この経験を日々の業務に活かして、これからも成長したいです。



松尾 拓也
八千代エンジニアリング(株)



平野 浩之
大日コンサルタント(株)

若手の会WGを通して、他社を知り、自社の良さを知り、業界の今後のことをよく考えるようになりました。この活動を続ければ、きっと今までとは一味違う業界になっていくと信じています。

他分野の同年代技術者と思いや考えを共有することができ、今後の技術者としての在り方を考えさせられる非常に刺激的な会となりました。10年後20年後も良い意味で会社に染まることなく伸び伸びと活動していきたいと思います。2年間本当にありがとうございました。



武藤 啓
NTCコンサルタンツ(株)

3.2 活動を終えて

中部若手の会は平成 29 年 7 月に発足し、2 年間の活動を終えました。
発足当初は、まず何をやるかというところから始まり、活動大綱を決めようにも意見が挙がらないような状況でした。

1 年目はメンバーで仲良くなろうということで、毎回テーマを決めて、ディスカッション形式で各社の課題等を紹介しあいました。こうした中で、じきに活発な意見が出るようになり、それが議論に発展し、この話し合いのなかから、中部若手の会としての活動大綱を決定することができました。

2 年目は、2 つ内容を軸に活動しました。
一つに「若手の能力向上を目指した勉強会の開催」、もう一つは「学生への業界アピールによる人材確保を目指した活動」です。

一つ目の、「若手の能力向上を目指した勉強会の開催」というのは、若手の会のメンバーである我々が学んで成長することを目的としています。コンサルタント業務に従事されている先輩方を講師として招き、小単位の勉強会を開いて、講師に聞きたいこと、また、若手社員に期待すること等を伺うことにしました。

勉強会は講師の話を一方的に聞くのではなく、我々も日々の課題等を整理して勉強会にのぞみ、講師も含めた全員で意見を出し合い、改善策を見つけていく場としました。

本報告書「2.3 A グループ」の項で整理したとおり、日々の仕事に取り組む姿勢、後輩の育成に関して、多くのことを考え、学ぶことができました。

また、もう一つの「学生への業界アピールによる人材確保を目指した活動」については、中部若手の会に所属するメンバーの会社で、入社 3 年目までの社員を対象としてアンケート調査を実施し、286 名の回答が得られました。（本報告書「2.4 B グループ」）

アンケート結果をもとに学生へアピールすべき時期、手段、学生が重要視している項目等を把握し、今後、効果的に業界 PR を実施していくための材料とします。

今後は整理した内容をもとに、実際に大学に出向き、学生に対してアピールする機会を作っていきたいと思います。

対外活動等への人材要請のお話を中部の建設コンサルタンツ協会からも若手の会に対して頂くようになりました。

さらに、2019 年には中部建コン 50 周年の記念イベントが開催されますが、企画の案出し、また、当日のステージやブースにおいて若手の会として発表の場を頂くことができ、活躍の場が大きく広がっていることを感じます。

「10 年 20 年後に業界の中心を担う我々若手世代が、自らの手で将来のビジョンを描き、実現に向けて行動すべきではないだろうか。」とスタートを切った全国若手技術者の会が、「業界の将来を自ら考えたい」「業界を牽引するリーダーになりたい」「業界全体を巻き込んだ活動にしたい」「業界の魅力を若手目線で発信したい」など、熱い思いで活動

を広げていった結果、全国の支部に若手の会が立ち上がり、中部支部においても、こうして活動の広がりを見せています。

中部若手の会の立ち上げメンバーとして携わらせて頂き、こういった形で成果を残し、今後に繋げていけるのか考えてきました。目指すべき目的が大きいため、早期に成果を残すことの難しさを感じましたが、以前よりも大局感に立って業界のことを考えられるようになったこと、また、同業の同世代のメンバーと様々意見交換するなかで深い人間関係が築けたことが大きな財産となりました。

現在、建設コンサルタント業界は働き方改革、人材確保等、多くの課題に直面していることを感じます。今後の業界の中心を担っていく若手世代が、自らの手で将来のビジョンを描き、実現に向けて行動を起こすことが、今後の業界の発展にとって不可欠であることを感じます。

今後、若手の会が業界発展のための発信源となり、そして、若手の会に関わったメンバーがそれぞれの立場で、よりよい業界の実現を目指して行動を開始していきたいと思います。

4. 今後の展望

4.1 Aグループ

勉強会の内容の検討時には、以下のような案もあった。

- ・他業種の若手組織やリーダー的存在の方々との勉強会

⇒ 多種多様な意見が得られ、自分の考えを深める

また、業界外を接することで業界の知名度向上

- ・発注者の若手の方との意見交換会

⇒ 顧客視点の意見が得られる、相互の理解が浸透する

時期、会場、費用の負担が課題であるため、十分な調整が必要となる

4.2 Bグループ

アンケートやイブニングサロンを通じて、建設コンサルタント業界の知名度向上が必要であると感じた。

今後は、業界として知名度向上を目的とした「ジョブカフェ」の実施を提案する

4.3 「中部支部 50 周年記念イベント」に向けて

建設コンサルタンツ協会中部支部は、2019 年に設立 50 周年を迎えることから、本年 9 月に 50 周年記念イベントを開催する予定である。

若手の会 WG として、ブースでの出展等を予定しているため、内容の検討や準備が必要である